

虐待から子供守ろう

高松キワニスクラブ 啓発活動

子供らを虐待の被害から守ろうと、社会奉仕団体の高松キワニスクラブ（佐野正会長）は15日、高松市のショッピングセンター「ゆめタウン高松」で児童虐待防止の啓発活動を行った。写真。



が参加。買い物客らに「児童虐待に気づいたら連絡を」などと声をかけながら、子ども女性相談センター（☎087・862・8861）などの連絡先が記されたカードに湿布薬がつけられた啓発グッズ約2千個を配った。子供連れにはキワニスマーク入りの風船も手渡した。

佐野会長は「児童虐待に對して関心を持つている人は多いと感じた。（われわれの）運動が虐待防止に貢献できるようなればいい」、ビルダーズクラブの森原葉さん（13）は「緊張したけど、いい経験ができた」と話した。

啓発グッズを受け取った買い物客らは「虐待のニュースは心が痛む」、「人ごとと思わずに連絡したい」などと話していた。

児童虐待防止を 買い物客に訴え

高松キワニス

民間社会奉仕団体の高松キワニスクラブ（佐野正会長）は15日、高松市内の大型量販店で児童虐待防止キャンペーンを行った。会員らが買い物客らにチラシなどを配り、「子どもたちへの虐待防止を呼び掛けた。毎年この時期に行ってお



リ、この日は約30人が参加。中学生組織「大手前丸亀ビルダーズクラブ」の生徒6人も加わり、異子ども女性相談センターの連絡先を載せたチラシや風船など約2千セットを買い物客らに手渡した。

参加した大手前丸亀中3年、前川美桜さん（14）は「この活動で虐待が少しでも減ってほしい」と話していた。

会員からチラシや湿布薬などを受け取る買い物客。高松市内